



02

基本情報

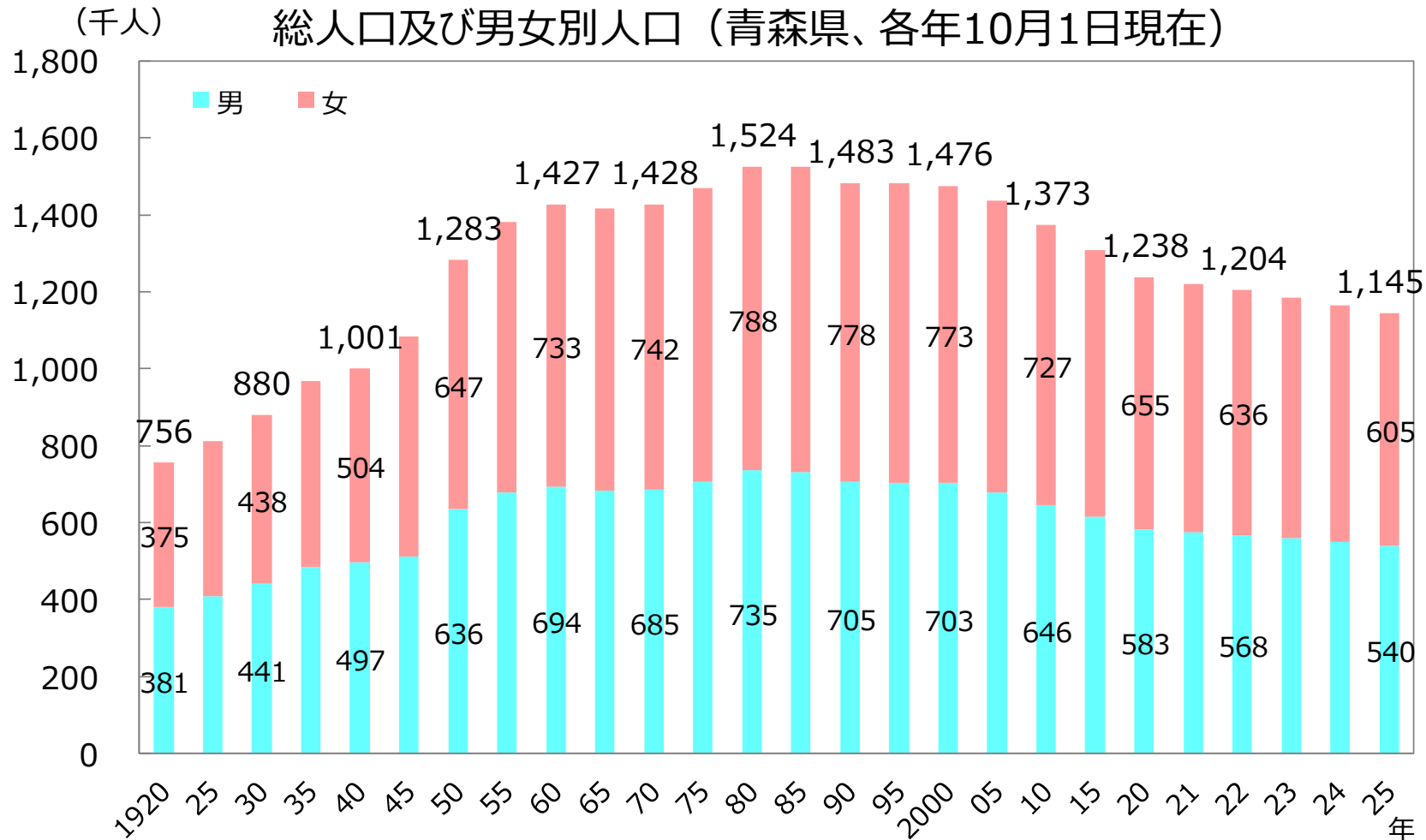
- (1) [人口](#)
- (2) [財政](#)（青森県ホームページ「青森県の財政事情」へ）
- (3) [経済](#)（青森県ホームページ「青森県社会経済白書」へ）

人口

- [総人口及び男女別人口](#)
- [年齢3区分別人と将来推計](#)
- [人口ピラミッド](#)
- [人口動態\(自然動態、社会動態\)](#)

総人口及び男女別人口

- 1920年から5年ごとに実施されてきた国勢調査によると、本県の総人口は、1985年の152万4,448人をピークに減少に転じている。2025年10月1日現在の人口は114万5,475人と、前年から1万9,277人の減少となっている。

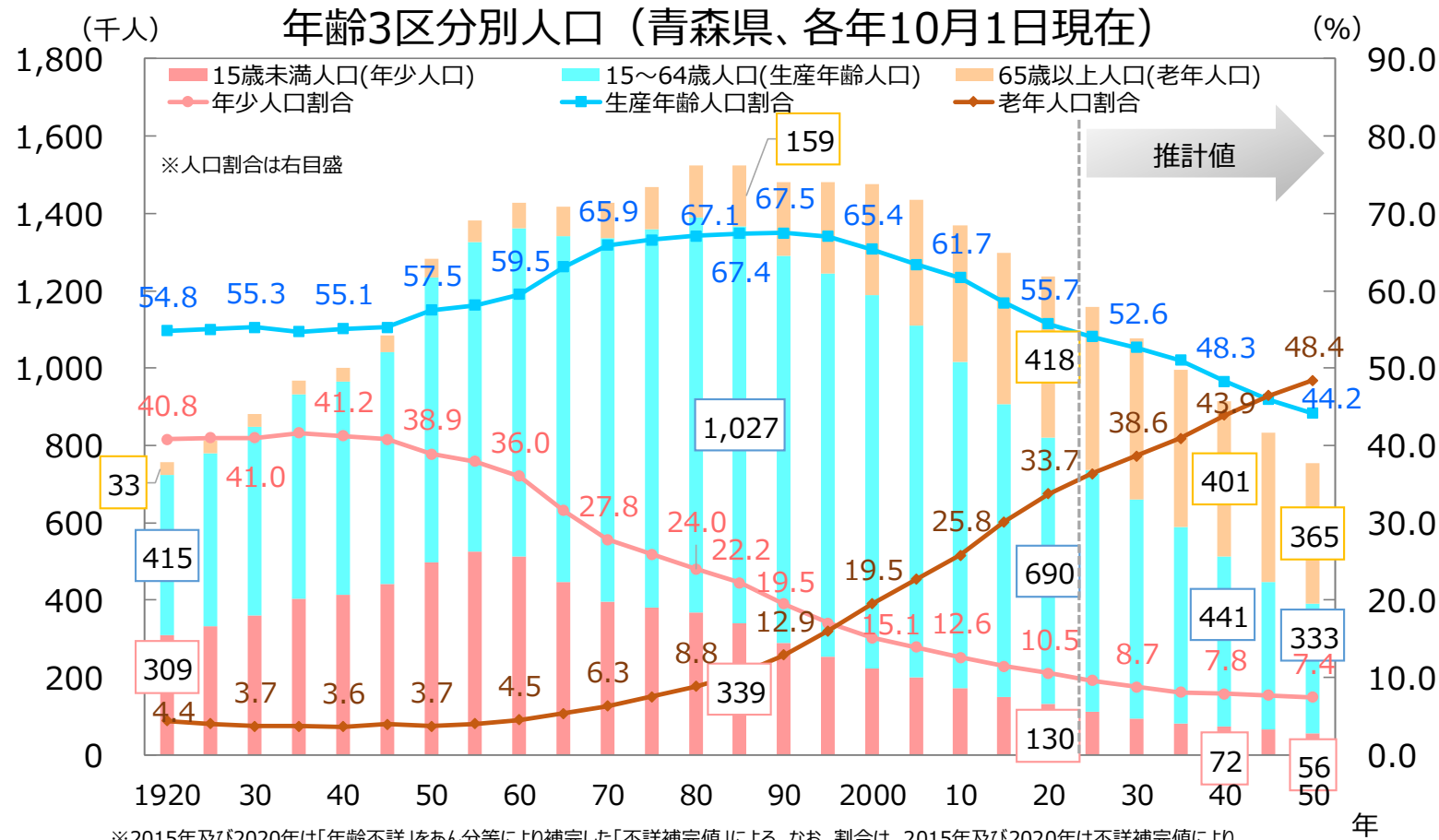


※国勢調査年である5年毎の表記。ただし、直近の国勢調査年以降は各年の推計人口を掲載している。

資料：総務省統計局「国勢調査」（1945年のみ「人口調査」）、県総合政策部「青森県人口移動統計調査」

年齢3区分別人口と将来推計

- 2020年10月1日現在の本県の年齢3区分別人口は、14歳以下が13万259人(総人口の10.5%)、15～64歳が68万9,910人(同55.7%)、65歳以上が41万7,815人(同33.7%)となっている。
- 2045年には、65歳以上の人口が15～64歳の人口を上回る見込みである。



※2015年及び2020年は「年齢不詳」をあん分等により補完した「不詳補完値」による。なお、割合は、2015年及び2020年は不詳補完値により、2010年以前は分母から年齢不詳を除いて算出している。

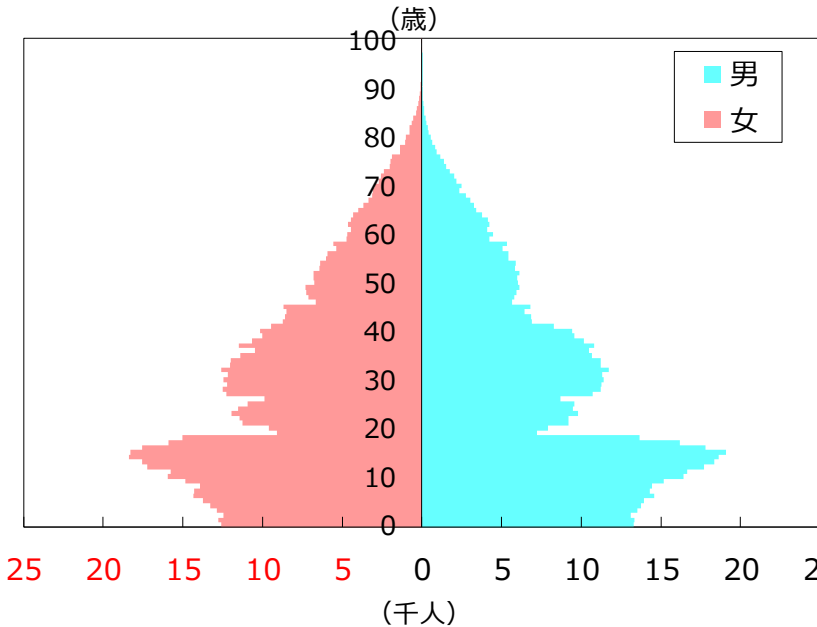
資料：総務省統計局「国勢調査」(1945年のみ「人口調査」)、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」

人口ピラミッド

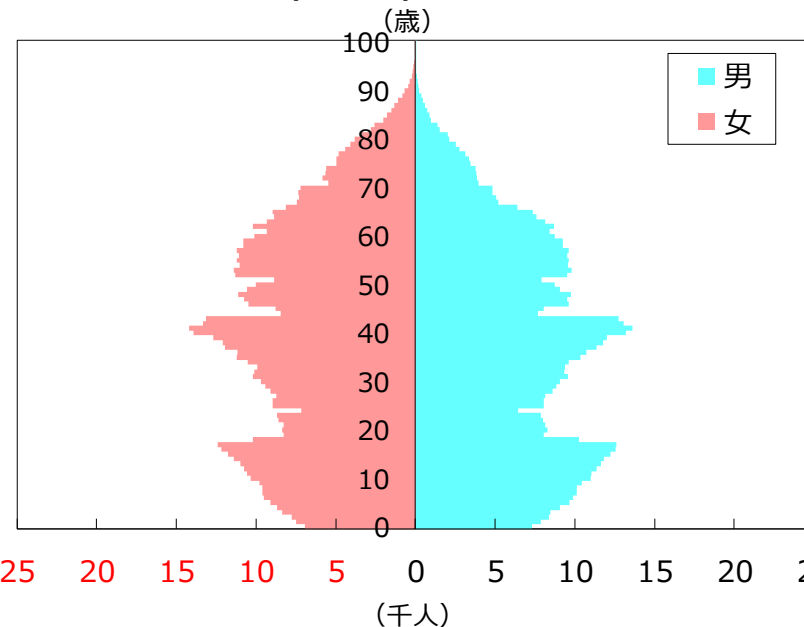
- 1965年、1990年、2020年の本県の人口ピラミッドを比較すると、少子化と高齢化の進行が見てとれるほか、人口の多い第1次ベビーブーム世代(1947~1949年生まれ)が2020年には70歳代前半となり、人口ピラミッドの重心が上方へスライドした形となっている。

人口ピラミッドの変遷 (青森県)

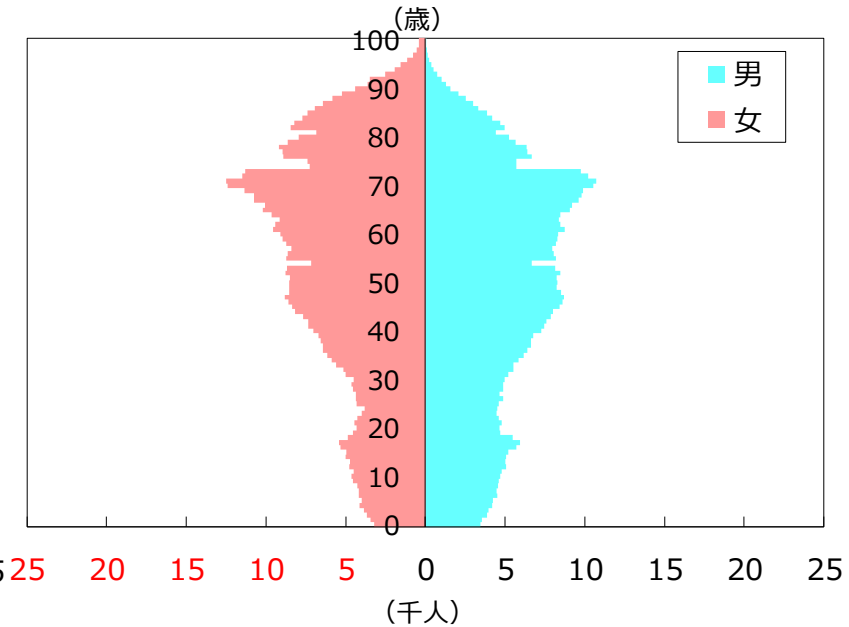
1965(昭和40)年10月1日



1990(平成2)年10月1日

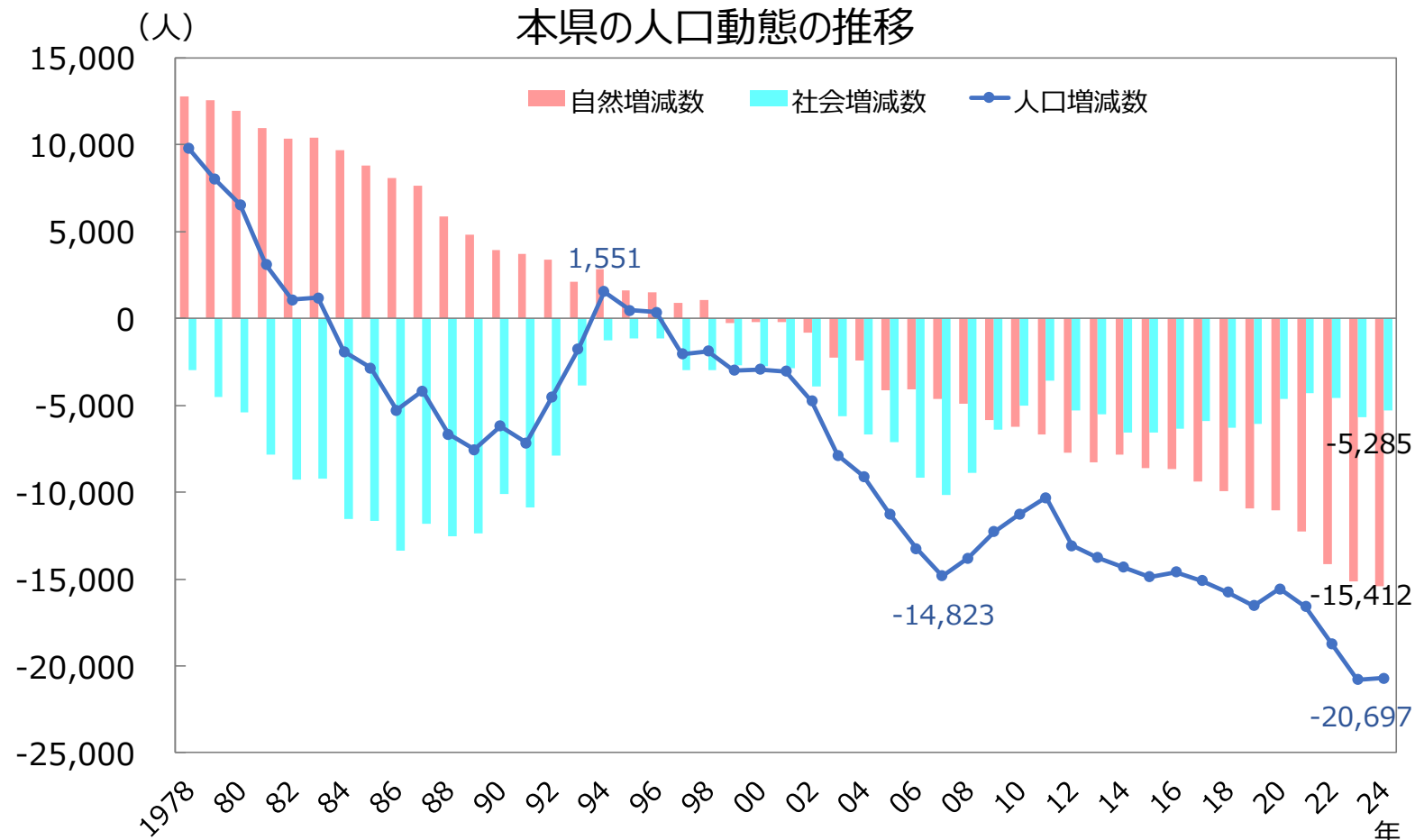


2020(令和2)年10月1日



人口動態(自然動態、社会動態)

- 本県の人口動態は、1990年代までは社会減を自然増が緩和していたものの、1999年以降は自然減に転じ、人口減少が年々加速してきた。
- 近年、社会減は全体数の減少やコロナ禍の影響でマイナス幅が縮小傾向にあったが、2023年に再び拡大した。



資料：厚生労働省「人口動態統計」、総務省「住民基本台帳人口移動報告」